

平成24年8月28日(火)～30日(木)

大和川河川事務所と奈良県は、奈良県立図書情報館にて、「語り継ぐ大和川大水害の記憶～30年前のあの日～」と題して、30年前の昭和57年に発生した洪水についてのパネル展示を開催しました。

期間中は昭和57年当時の水害写真や、新聞記事、現在との比較写真、最近の治水対策などについてのパネルを展示いたしました。

「語り継ぐ大和川大水害の記憶～30年前のあの日～」

大和川流域に大きな被害をもたらした昭和57年8月の大洪水から今年で30年を迎え、当時の大水害を振り返ることで、災害の記憶を風化させることなく防災意識向上につながる企画展示を行いました。

イベントの様子



大和川の昭和57年の洪水や、最近の治水対策のパネル展示のようす



夏休みのおわりの時期の図書館ということもあり、多くの方が図書情報館に来場され、パネル展示会場にも親子連れ、学生など幅広い世代の方々にご覧いただきました。

大阪や京都などで、記録的豪雨による大規模な水害・土砂災害が発生したばかりということもあり、身近な大和川でもかつて大水害が発生していたことを知らない方も多く、関心を持って見ている方が多いと感じました。

「これ、あのあたりや」とか「あのときは・・・」と記憶をよみがえらせたり、改めて水害の怖さを再認識していただけたと思います。

これからも引き続き、各地でこのような企画展示を行ってまいります。